

環境研究総合推進費令和 7 年度事後評価個票

研究課題番号	1-2202
研究課題名	アジア途上国における気候中立社会の実現に向けたロードマップの定量化に関する研究
研究実施期間	2022（令和 4）年度～2024（令和 6）年度
研究代表機関名	国立環境研究所
研究代表者名	増井 利彦

1．評価結果

評価ランク：A

2．委員の指摘及び提言概要

アジア途上国を対象として、気候中立社会の実現に向けて日本が有するモデルを精緻化し、個別分野の課題解決を踏まえたロードマップを定量化するためのマニュアル作成だけでなく、各国からの研究員を受入れてトレーニングし、アジア諸国における対策立案・見直しに実際に役立っている。インドネシアやタイなどの気候中立をめざした AIM モデルに、個別領域としての電源計画や食糧需給の個別モデルを統合する取り組みが成功した良い研究成果であり、評価できる。一方で、森林の存在やその管理、農地への転換等の問題のモデルへの適用、ラオスやフィリピン等近隣諸国への研究の発展は今後の課題である。また、多様なシナリオを明確に分析できている。ただし CCS の実現性とコストの増加についての考慮は十分ではない。得られた成果に基づいた国民との科学・技術対話を進めてもらいたい。より多くの途上国での適用を進め、ロードマップの実践における課題抽出への挑戦を期待する。